

タックダイインPE-10GⅡ安全データシート表

製品安全データシート

PE-10G(R)1/2

正規代理店：ケーアイ工業(建築士事務所)
TEL:050-7770-4888
0120-783-480
<http://www.keiaikogyou.com/>
email: taishin@keiaikogyou.com

会社名：ファイバーダイイン株式会社
住所：東京都港区芝2-5-19
TEL 03-3453-2951 FAX 03-5442-0356
作成日 2005/06/01

【製品名（化学名、商品名など）】 タックダイイン PE-10GⅡ 主剤

【物質の特定】

単一製品・混合物 : 混合物
化学名 : エポキシ樹脂系二液型無溶剤塗料
成分及び含有量 : ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂 他
化審法番号 : 7-1283 他
CAS番号 : 25068-38-6 他

【危険有害性の分類】

分類の名称 : その他の有害物質
危険性 : 可燃性液体(危険物第四類第三石油類)
有害性 : 吸入したり皮膚に触れたりすると、中毒やかぶれを起こすことがある。

【応急措置】

目に入った場合 : 直ちに多量の水で洗い、速やかに眼科医の診察を受ける。
皮膚に付着した場合 : ガーゼ等の布でよく拭き取り、中性洗剤でよく洗い落とし、湿疹や炎症の兆候が見られる場合、直ちに医師の診断を受ける。
蒸気または発生ガス : 通気の良い場所へ移して静かに休養させ、頭痛、嘔吐等の自覚症状があるならば、直ちに医師の治療を受ける。
飲み込んだ場合 : 多量の水と共に吐き出させる。自発的に嘔吐できる場合は、さらに水を与えて吐かせる。ただし、無理にはかせようとしてはならない。患者の意識がない場合は、何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。いずれの場合にも、直ちに医師の治療を受ける。

【火災時の措置】

消化方法 : 初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器や乾燥砂を用いる。
大規模火災の際には、泡消化剤等を用いて空気を遮断することが有効である。
消火器 : 一般油消火用(粉末、泡、炭素ガス)乾燥砂。

【漏出時の措置】

- ・ 少量の場合には、乾燥砂、ウエス等に吸着させて、密閉できる容器に回収し残りは拭き取る。
- ・ 大量の場合には、盛り土等で囲い流失を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
- ・ 河川等へ排出されないように注意する。

【取扱い及び保管上の注意】

取扱い : 取り扱いは、換気の良い場所で行う。
直接人体に触れないよう、不浸透性の手袋等の保護具を着用する。
直接手で取り扱うような作業方法は避ける。
作業終了後は、手洗い、うがいを十分に行う。
スプレーミストや蒸気が発生する作業の場合は、局所排気装置を設置するかまたは、状況に応じて防塵・防毒・送基マスク等を着用する。
衣服等に付着した場合には、着替える。
保管 : 危険物屋内貯蔵庫に保管する。高温、高湿を避ける。

【暴露防止措置】

- 管 理 温 度 : 設定されていない
 許 容 濃 度 : 日本産業衛生学会、ACGIH等において設定されていない。
 設 備 対 象 : 局所排気装置、洗顔、手洗い場の設置
 保 護 具 : 保護眼鏡 : 側板付き普通眼鏡型、ゴーグル
 保護衣 : 長袖の衣服を着用し、必要に応じ合成樹脂または、
 ゴム製の前掛け、腕カバーを用いる。
 保護手袋 : ゴム手袋等、液を通さない物を着用する。

【物理／化学的性質】

- 外 観 : 灰色液状
 揮 発 性 : なし
 比 重 : 1.60(20℃)
 水溶解度 : 難溶

【危険性情報】

- 引 火 点 : 160℃ (Cleveland)
 安 定 性 : 通常の状態では安定
 反 応 性 : 硬化剤とは、かなりの発熱を伴って反応する。急激な硬化、一度に多量の硬化は、時には有害な煙、蒸発物を伴い反応物の炭化・分解を生ずる事がある。

【有害性情報】

- 刺 激 性 : 皮膚や目に炎症を起こす恐れがある。
 感 作 性 : 人により感作性皮膚炎を生じることがある。
 急性毒性 : ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂LD50 : 11g/kg (ラット)
 変異原性 : ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂は労働省通達による変異原性が認められた
 既存化学物質である。
 がん原性 : IARCによる発がん性のリスクの総合評価は、グループ3 (ヒトへの発がん性があると分類できない化学品) である。

【環境影響情報】

現在のところ知見なし

【廃棄上の注意】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律ならびに都道府県条例等に基づく焼却処理か、許可を受けた処理業者に委託する。容器やウエス等も同様に扱う。

【輸送上の注意】

火気厳禁、天地無用
 容器にキズを付けぬよう、丁寧に扱う

【主な摘用法令】

- 消 防 法 : 危険物第四類第三石油類 (非水溶性液体) (2000ℓ)
 海洋汚染防止法 : B類物質
 PRTR法 : 第1種指定化学物質 (No.30 ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂)
 労働安全衛生法 : 変異原性物質

【そ の 他】

- 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分に注意をしてください。
 引用文献 : 『エポキシ樹脂及び硬化剤の正しい取扱いの手引き』 エポキシ樹脂技術協会編

製品安全データシート

PE-10G(H)1/2

会社名：ファイバーダイン 株式会社

住所：東京都港区芝2-5-19

TEL 03-3453-2951 FAX 03-5442-0356

作成日 2005/06/01

【製品名（化学名、商品名など）】 タックダイン PE-10GII 硬化剤

【物質の特定】

単一製品・混合物：混合物
化学名：エポキシ樹脂系二液型無溶剤塗料
成分及び含有量：変性脂肪族ポリアミン 他
化審法番号：7-1269 他
CAS番号：原料メーカーから開示を受けていない

【危険有害性の分類】

分類の名称：分類基準に該当しない。
危険性：可燃性液体(危険物第四類第三石油類)
有害性：吸入したり皮膚に触れたりすると、中毒やかぶれを起こすことがある。

【応急措置】

目に入った場合：直ちに多量の水で洗い、速やかに眼科医の診察を受ける。
皮膚に付着した場合：ガーゼ等の布でよく拭き取り、中性洗剤でよく洗い落とし、湿疹や炎症の兆候が見られる場合、直ちに医師の診断を受ける。
蒸気または発生ガス：通気のよい場所へ移して静かに休養させ、頭痛、嘔吐等の自覚症状があるならば、直ちに医師の治療を受ける。
飲み込んだ場合：多量の水と共に吐き出させる。自発的に嘔吐できる場合は、さらに水を与えて吐かせる。ただし、無理にはかせようとしてはならない。患者の意識がない場合は、何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。いずれの場合にも、直ちに医師の治療を受ける。

【火災時の措置】

消化方法：初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器や乾燥砂を用いる。
大規模火災の際には、泡消化剤等を用いて空気を遮断することが有効である。
消火器：一般油消火用（粉末、泡、炭素ガス）乾燥砂。

【漏出時の措置】

- ・ 少量の場合には、乾燥砂、ウエス等に吸着させて、密閉できる容器に回収し残りは拭き取る。
 - ・ 大量の場合には、盛り土等で囲い流失を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
 - ・ 河川等へ排出されないように注意する。
-

【取扱い及び保管上の注意】

取扱い：取扱いは、換気の良い場所で行う。
直接人体に触れないよう、付浸透性の手袋等の保護具を着用する。
直接手で取り扱うような作業方法は避ける。
スプレーミストや蒸気が発生する作業の場合は、局所換気装置を設置するかまたは、状況に応じて防塵・防毒・送基マスク等を着用する。
衣服等に付着した場合には、着替える。
保管：危険物屋内貯蔵庫に保管する。高温、高湿を避ける。

【暴露防止措置】

- 管 理 温 度 : 設定されていない
許 容 濃 度 : 日本産業衛生学会、ACGIH等において設定されていない。
設 備 対 象 : 局所排気装置、洗顔、手洗い場の設置
保 護 具 : 保護眼鏡 : 側板付き普通眼鏡型、ゴーグル
保護衣 : 長袖の衣服を着用し、必要に応じ合成樹脂または、
ゴム製の前掛け、腕カバーを用いる。
保護手袋 : ゴム手袋等、液を通さない物を着用する。
-

【物理／化学的性質】

- 外 観 : 淡黄色透明液状
揮 発 性 : なし
比 重 : 1.05 (20℃)
水溶解度 : 難溶
-

【危険性情報】

- 引 火 点 : 126℃ (Cleveland)
安 定 性 : 通常の状態では安定
反 応 性 : 主剤とは、かなりの発熱を伴って反応する。急激な硬化、一度に多量の硬化は、時には有害な煙、蒸発物を伴い反応物の炭化・分解を生ずる事がある。
-

【有害性情報】

- 刺 激 性 : 皮膚や目に炎症を起こす恐れがある。
感 作 性 : 人により感作性皮膚炎を生じることがある。
急性毒性 : no data
-

【環境影響情報】

現在のところ知見なし

【廃棄上の注意】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律ならびに都道府県条令等に基づく焼却処理か、許可を受けた処理業者に委託する。容器やウエス等も同様に扱う。

【輸送上の注意】

火気厳禁、天地無用
容器にキズを付けぬよう、丁寧に扱う

【主な摘用法令】

- 消 防 法 : 危険物第四類第三石油類 (非水溶性液体) (2000ℓ)
P R T R 法 : 該当せず
-

【そ の 他】

- 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分に注意をしてください。
引用文献 : 『エポキシ樹脂及び硬化剤の正しい取扱いの手引き』 エポキシ樹脂技術協会編
-